

■市制施行50周年記念 恵庭ふるさと講座

がく

令和元年度 第2回 えにわ学 講座



村から町へ 恵庭町の誕生

日時：令和2年2月18日（火）
18：30～20：00
会場：市民会館 視聴覚室

《 次 第 》

1. 開 会

2. 講師紹介

恵庭市郷土資料館 主査・学芸員 大林 千春さん

3. 講 演

▷講師のプロフィール

青森県生まれ、恵庭市出身。

平成2年 恵庭市教育委員会に学芸員として採用。同年11月の郷土資料館開館に向け、資料収集に携わる。以後、郷土資料館の資料収集・保管・展示・普及事業等に取り組む。

4. 質 疑

5. 閉 会

※裏面はメモ欄としてお使いください

市制施行50周年記念 えにわ学講座

恵庭町の誕生

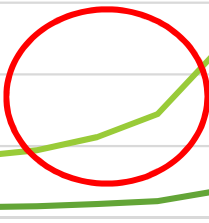
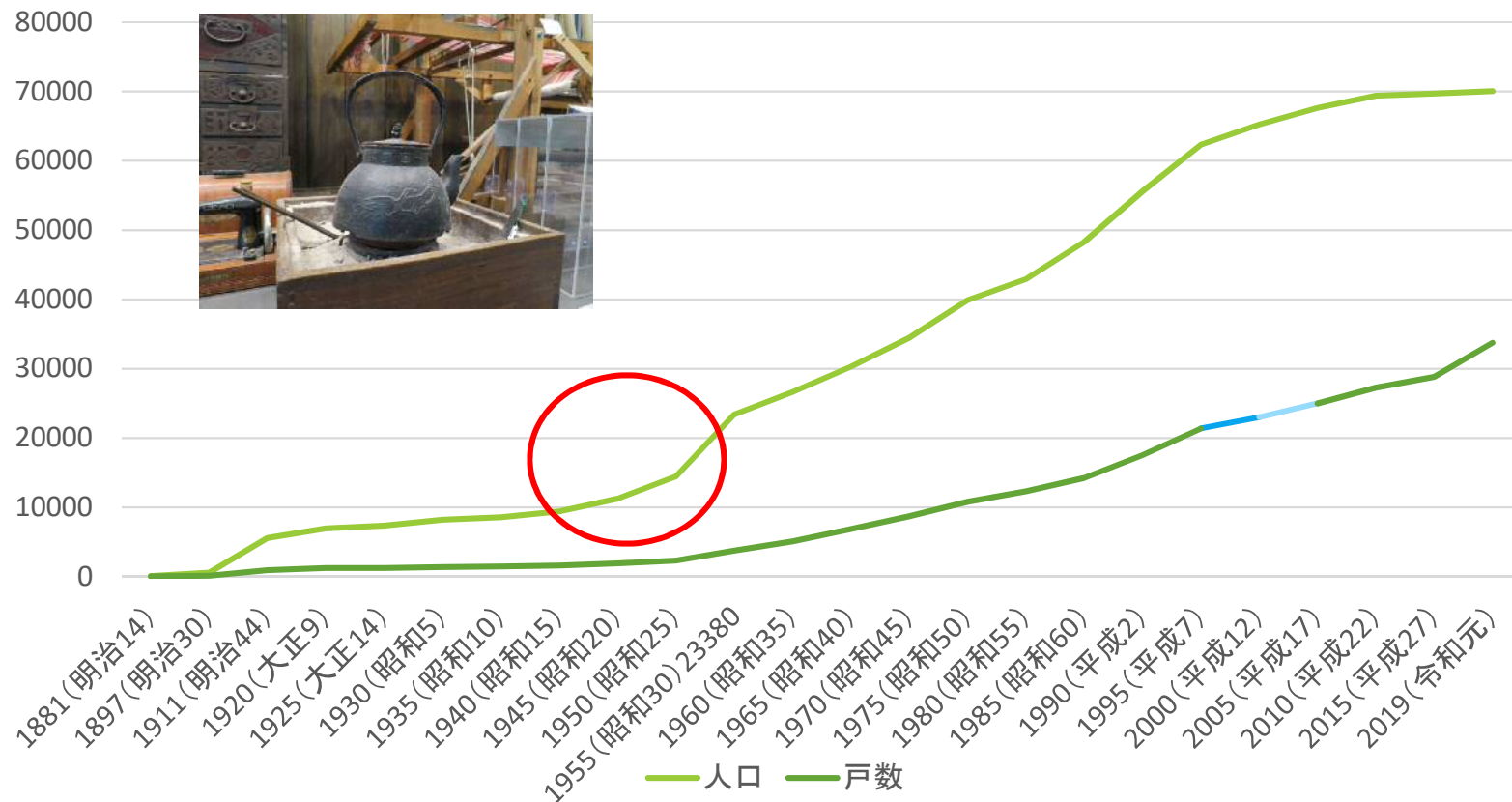
村から町へ

と き：令和2年2月18日

と ころ：恵庭市民会館



恵庭の人口と世帯数の推移



— 人口 — 戸数

昭和20年 終戦時の恵庭

- ・解体軍人による農業転職者100戸 桜森地区へ入植
- ・土功組合の設立
- ・千歳川築堤河川切り替え工事
- ・松園小学校失火全焼
- ・冷害凶作

食料・衣類の不足 預貯金の封鎖
物価の高騰・・・

- 中島松・春日地区より下流域
井戸掘削の際、地中より天然ガスが出た
ガスストーブ ガス燈を使用する
家庭もあった

ガスストーブ



新憲法 地方自治法の制定

選挙法も改正

昭和22(1947)年:

第1回選挙により 新村長 村議会議員が誕生

樺太や満州などからの引揚者の受入れ

「寮」を新設（昭和25年までに 163世帯 701名）

緊急開拓者の入植

⇒国費補助住宅 盤尻 戸磯 漁太 北島などに86戸

戦後の人口の推移

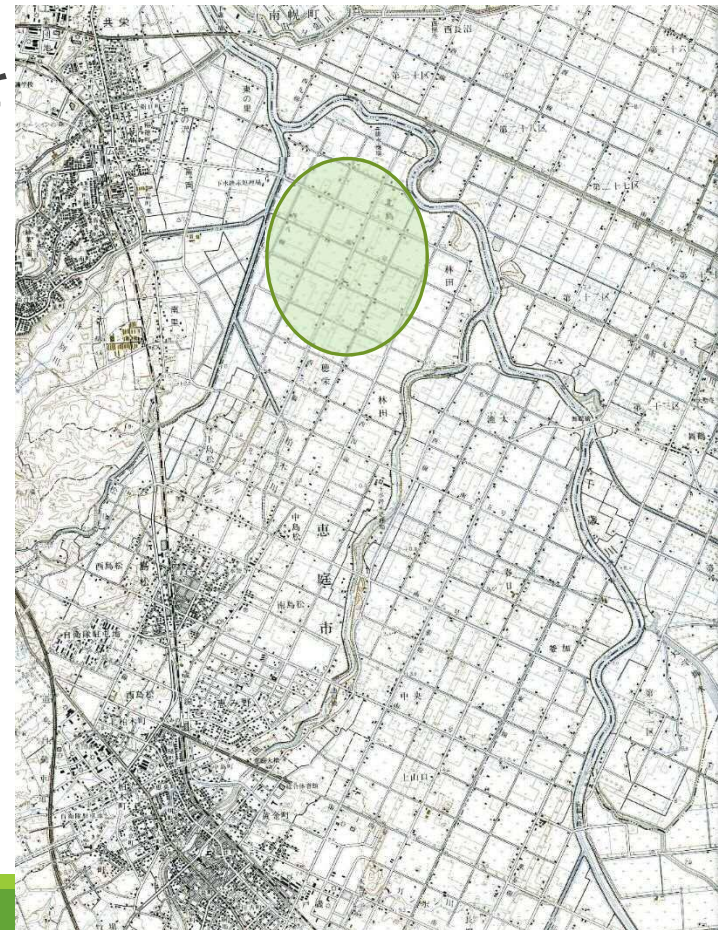
昭和20(1945)年 前年比 334世帯 2202人増



戦後の復興 北島地区

空襲などで家を失った本州の人びとを
開拓者として北海道各地への移住を
勧め、罹災対策と食料増産の戦力
とした。

昭和20年8月下旬 名古屋から
北島地区開拓の入植が始まる



戦後の復興 桜森地区

陸軍北部軍は島松演習場の一部を軍人・軍属の入植地として解放

約100戸が場内桜森地区に入植

キリスト教会 小学校なども作られたが進駐軍より退去
通告があり、昭和23年、桜森を離れる。

恵南、みどり野(現千歳・
恵庭演習場内)等へ移住。



島松小学校桜森分教場
(昭和22年)

戦後の復興 連合軍指令に基づいて

- ・農地改革

 - 自作農創設の強化

 - 小作料金納化 ⇒ 恵庭ではすでに戦前より自作農経

 - 農業委員会の設立 営がすすめられていた

- ・教育基本法公布による教育制度改革

 - 新制中学校の設立 予算裏付けなし⇒各校下有志の協力

学校整備



恵庭中学校(昭和26年)



恵庭小学校(昭和26年)



恵北中学校
(昭和26年)

戦後の復興 インフレ

物価指数

戦前を100とすると

終戦後 350

昭和21年 1627

23年 12793

24年 20876



GHQによるさまざま税制改革

各自治体による独自の課税

恵庭ではミシン税や犬税も

税負担の重圧は加わる

警察予備隊の駐とん

昭和25(1950)年

朝鮮戦争による極東情勢は極度に緊迫化

警察力を補完する治安隊として警察予備隊設立

<75,000人>

恵庭村は旧教育隊跡地に警察予備隊を強力に誘致。

国有地の陸軍北部軍教育隊跡地に

約300人の隊員が駐とん

北海道初の駐とん地となった



警察予備隊の駐とん

続いて

昭和27(1952)年

島松に 北海道地区補給処 設置

恵南に 南恵庭駐屯地 創設

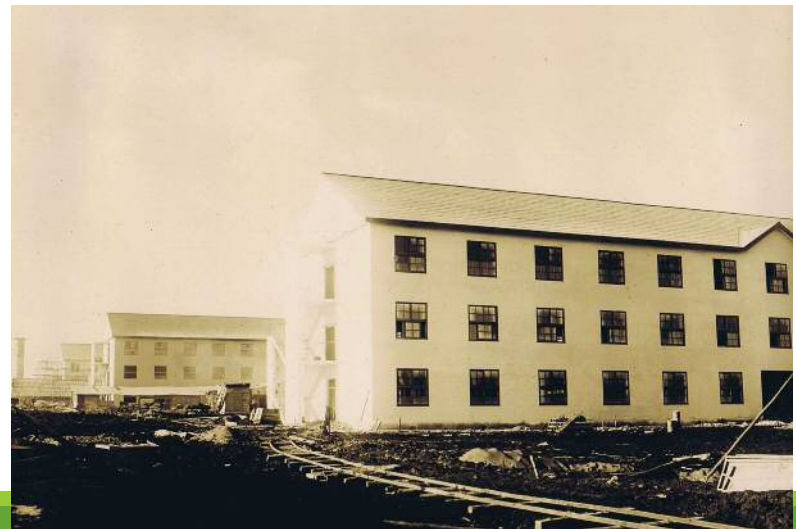
名称 保安隊に変わる

昭和29(1954)年 アメリカ駐留軍撤退

名称 陸上自衛隊に改組

昭和30(1955)年 上山口に

東恵庭駐屯地(通信部隊) 設置



保安隊北恵庭部隊

アメリカ軍オクラホマ部隊 昭和26(1951)年

アメリカ合衆国第45師団〈通称オクラホマ部隊〉が千歳基地に駐留
一部が恵庭の駒場町や島松演習場に駐留



- ・前年の警察予備隊の駐とんもあり、恵庭は基地のまちとして知られるようになる
- ・飲食店が立ち並ぶ栄恵町ができる

スパル座はその中心に位置していた



スパル座



恵庭町誕生

昭和25(1950)年 人口14,456人 世帯数2,308世帯

恵庭村議会の決定に基づき 村は北海道知事に町制施行を申請

理由書では 明治期以来の沿革、自然、人口の推移、農林業・商工業などの産業、交通の利便性、公共施設の充実など現状と町としての将来性を強く訴える。



恵庭町誕生

昭和26(1951)年4月1日 恵庭町誕生

町制施行記念式典 <会場 恵庭中学校>

北海道・石狩支庁、町内外より300人の来賓が参列

祝賀会 演芸大会 小中学生
によるパレード が行われた





恵庭町町制施行記念式典
表彰式



恵庭町町制施行記念式典
演芸会

恵庭町誕生 庁舎移転

昭和27(1952)年 新役場庁舎完成



新役場庁舎新築記念品

昭和27年 庁舎新築記念品



昭和28年 地元協賛会による庁舎新築記念品



昭和26(1951)年町制施行当時の恵庭



旧旧道 漁町・本町

昭和26(1951)年町制施行当時の恵庭



島松駅前



島松駅変電所



北電漁川発電所



舞鶴橋

昭和31(1956)年当時の恵庭

ボンネットバス



第1回商工まつり



ミス恵庭パレード

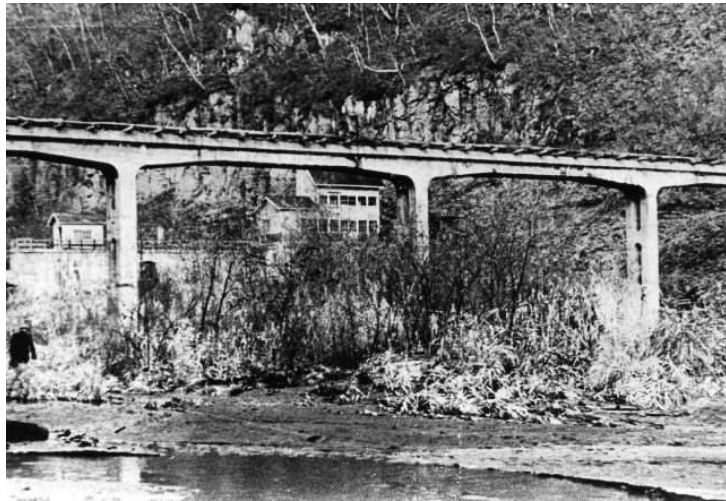
産 業



林業のまち ～冬山造材



森林鉄道のコンクリート橋



機関車と機関士



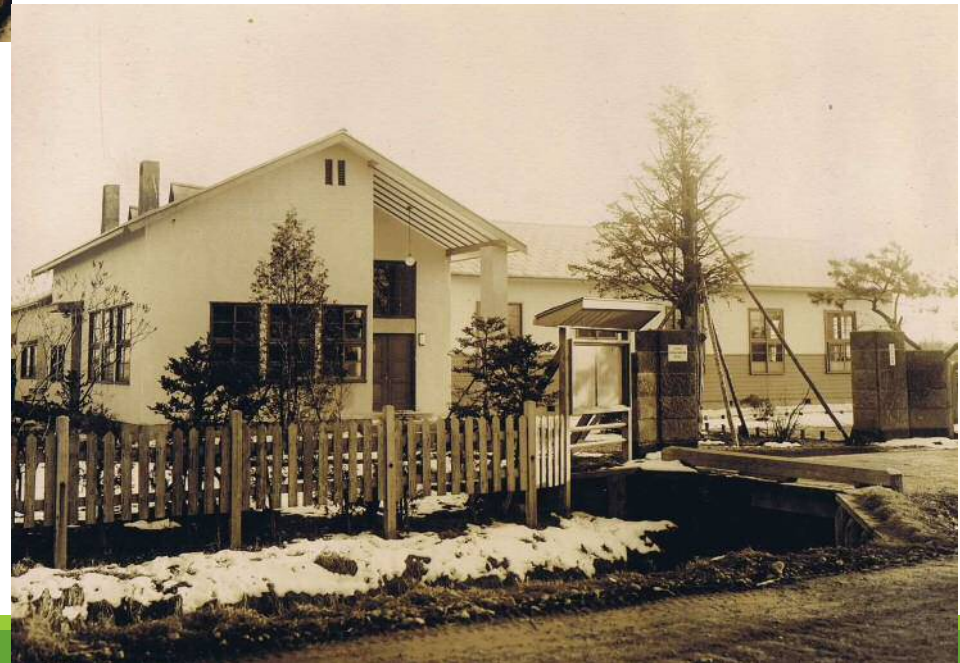
昭和24(1949)年インクライン装置設置

昭和26(1951)年町制施行当時の恵庭



恵庭駅前
の貯木場
(土場)

恵庭営林署



国道36号線(通称 弾丸道路)の整備

昭和28(1953)年 国道36号線 札幌～千歳間の舗装整備全面完成

舗装整備により、車両増加とスピード化が進み、画期的な利便性をもたらす

なぜ？弾丸道路と呼ばれたのか

- ① 車が弾丸のようにハイスピードで走ったから
- ② アメリカ軍の強い要請により、弾丸のように素早く工事が進んだから
- ③ 弾丸を運ぶために整備されたから



国道36号線開通舗装道路完成(昭和28年)

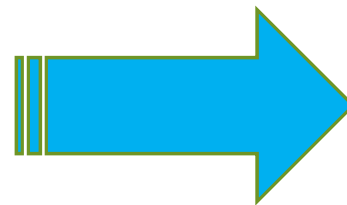
警察予備隊の駐屯

交通網の整備

人口の増加

公共施設の整備

電力の供給



本格的な

街づくりのはじまり

水道の整備

町名改正 など

街づくりの一翼を担った道路整備
当時の様子を撮影した動画を
ご覧ください